

福島県相馬港湾建設事務所  
東北地方整備局小名浜港湾事務所  
福島海上保安部

## 相馬港の供用施設追加について

相馬港では、東日本大震災による被災後、各施設の早期復旧に努めておりますが、平成23年8月5日午前6時より、下記のとおり民間商船等の利用可能な岸壁を追加するとともに、調査中の水域を除き航行可能となります。

### 記

#### 1 航行可能な水域

調査中の水域を除き、航行可能となります。

※港内には座礁船等が存在していますので、航行には十分注意してください。

#### 2 追加した民間商船等が利用可能な係留施設

① 1号ふ頭第1号岸壁

② 1号ふ頭第3号岸壁

※緊急物資輸送船等に加え、民間商船等も利用できるようになりますが、エプロンの使用には重量制限があります。

その他、2号ふ頭第4号岸壁が、4月27日から民間商船等の利用が可能となっています。

#### 【留意事項】

- (1) 相馬港及び周辺海域には、漂流物、瓦礫等の水中障害物が依然として存在するおそれがありますので、船舶の航行に当たり十分注意してください。
- (2) 相馬港入出港の航行径路は、北航路とします。
- (3) 東日本大震災により沖防波堤が広範囲に渡って損壊しており、以前に比較し港内の静穏度は低下しています。

#### 【問い合わせ先】

福島県相馬港湾建設事務所

電話 0244-36-5029

東北地方整備局小名浜港湾事務所

電話 0246-53-7100

福島海上保安部

電話 0246-35-3450

# お知らせ（相馬港入出港の際の留意事項）

平成23年8月5日

福島県相馬港湾建設事務所  
東北地方整備局小名浜港湾事務所  
福島海上保安部

- 1 相馬港及び周辺海域には、漂流物、瓦礫等の水中障害物が依然として存在するおそれがありますので、船舶の航行に当たり十分注意してください。
- 2 相馬港入出港の航行径路は、北航路とします。
- 3 相馬港内では、別添図のとおり水深減少が認められています。
  - ① 北航路入口部  
障害物が存在しており、周辺の水深－1.7mに対して、最大3m程度の減少がみられる。
  - ② 北航路  
－1.5mの計画水深に対して、最大2.5m程度の減少がみられる。
  - ③ －1.4m航路  
－1.4mの計画水深に対して、最大2m程度の減少がみられる。
  - ④ －1.2m泊地  
－1.2mの計画水深に対して、最大1m程度の減少がみられる。
  - ⑤ －1.2m航路  
－1.2mの計画水深に対して、最大1m程度の減少がみられる。
  - ⑥ －7.5m泊地（2号ふ頭第2号岸壁前面）  
－7.5mの計画水深に対して、最大2.5m程度の減少がみられる。
  - ⑦ －7.5m泊地（2号ふ頭第3号岸壁前面）  
クレーンが倒壊し一部水没している。
  - ⑧ －5.5m泊地  
－5.5mの計画水深に対して、最大0.5m程度の減少がみられる。
- 4 東日本大震災により沖防波堤が広範囲に渡って損壊しており、以前に比較し港内の静穏度は低下しています。
- 5 相馬港で航行可能な水域及び利用可能な係留施設は、次のとおりです。

(1) 航行可能な水域

調査中の水域を除き、制限はありませんが、港内には水中障害物や座礁船が存在することから、航行には十分注意してください。

(2) 利用可能な係留施設（別添図参照）

名 称	延長(m)	水深(m)	備考
1号ふ頭 第1号岸壁 第3号岸壁	90m 130m	－5.5m －7.5m	公共ふ頭 エプロンの使用には重量 制限あり
2号ふ頭 第4号岸壁	240m	－12m	公共ふ頭

# 相馬港 施設復旧状況（平成23年8月5日 6:00現在）



福島県 相馬港湾建設事務所  
 福島海上保安部  
 国土交通省 東北地方整備局 小名浜港湾事務所

— : 利用可能な係留施設  
 — : 利用可能な係留施設（エプロンの使用には重量制限あり）  
 ■ : 調査中

## 【留意事項】

### 【港内の静穏度】

東日本大震災により、沖防波堤が広範囲に渡って損壊しており、以前に比較し港内の静穏度は低下しています。

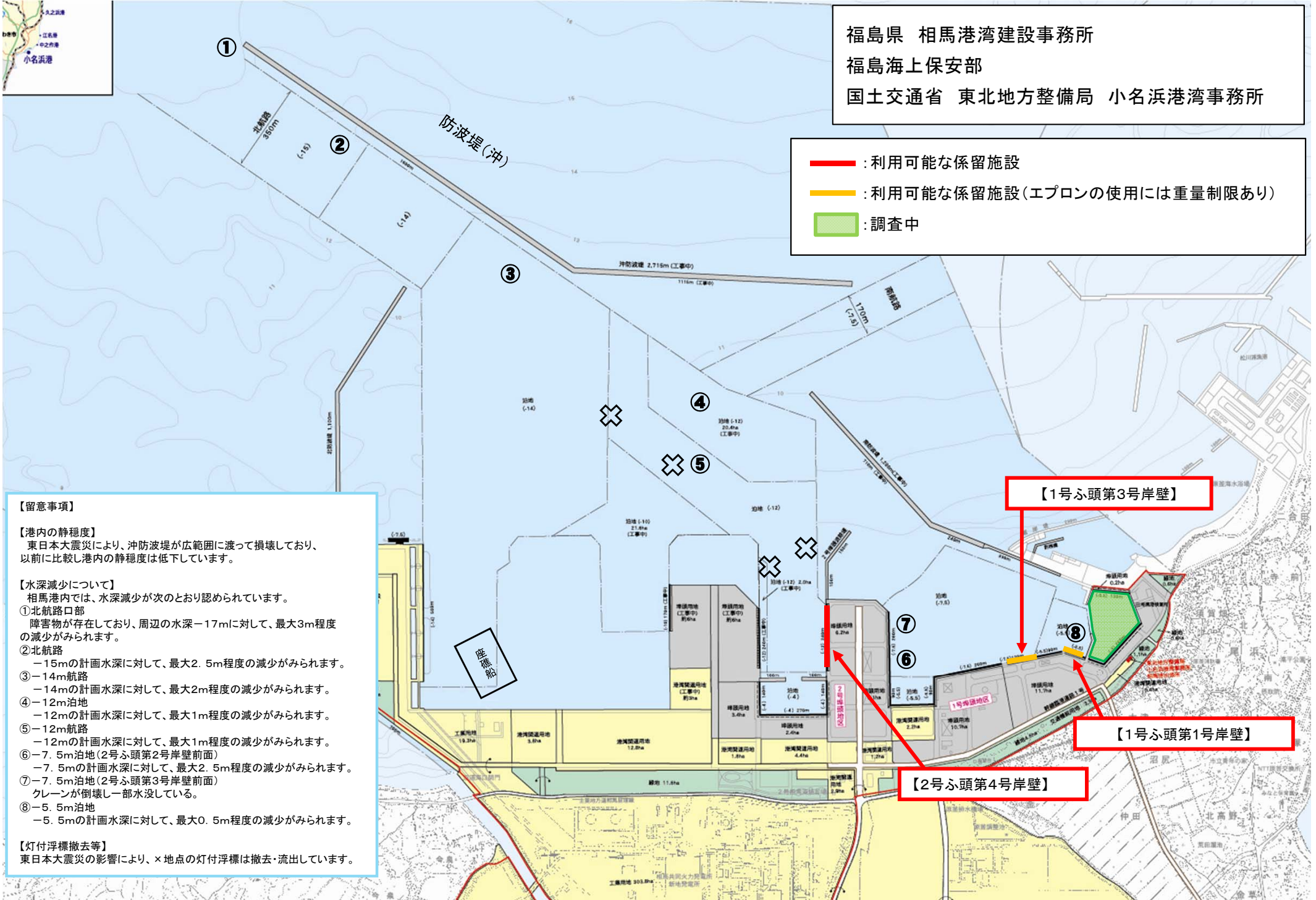
### 【水深減少について】

相馬港内では、水深減少が次のとおり認められています。

- ①北航路口部  
障害物が存在しており、周辺の水深-17mに対して、最大3m程度の減少がみられます。
- ②北航路  
-15mの計画水深に対して、最大2.5m程度の減少がみられます。
- ③-14m航路  
-14mの計画水深に対して、最大2m程度の減少がみられます。
- ④-12m泊地  
-12mの計画水深に対して、最大1m程度の減少がみられます。
- ⑤-12m航路  
-12mの計画水深に対して、最大1m程度の減少がみられます。
- ⑥-7.5m泊地（2号ふ頭第2号岸壁前面）  
-7.5mの計画水深に対して、最大2.5m程度の減少がみられます。
- ⑦-7.5m泊地（2号ふ頭第3号岸壁前面）  
クレーンが倒壊し一部水没している。
- ⑧-5.5m泊地  
-5.5mの計画水深に対して、最大0.5m程度の減少がみられます。

### 【灯付浮標撤去等】

東日本大震災の影響により、×地点の灯付浮標は撤去・流出しています。



【1号ふ頭第3号岸壁】

【1号ふ頭第1号岸壁】

【2号ふ頭第4号岸壁】